



本郷小

会津美里町立本郷小学校
令和5年度学校だよりNo.2
令和5年4月13日
発行者 校長 星 潔

入学式・始業式を行いました！

4月6日、「チーム本郷」元気に笑顔いっぱいでも令和5年度のスタートを切りました。まずは新しく転入された先生方の「着任式」です。私も含めて着任した教職員は、本郷小学校の子どもたちのあいさつと返事の素晴らしさに感激しました。代表あいさつも大変素晴らしかったです。着任の喜びを感じました。

その後は第1学期始業式を実施しました。進級した子どもたちに、今年のスローガン「本気で 郷GO! ドリーム スマイル チャレンジ チーム本郷」の達成に向かって、みんなで本郷小学校としての最後の1年間を頑張っていきましょうというような話をしました。子どもたちの目は意欲に満ち溢れていました。これからの本郷小学校の学校生活がとても楽しみです。

そしていよいよ入学式。かわいらしく入場してきた1年生。きちんと話を聞けて、返事もしっかりとできました。たいへん素晴らしかったです。また6年生による「歓迎の言葉」も「チーム本郷」の顔として、大変立派でした。さすが最高学年です。

着任式、始業式、入学式を終えて、今年度の「チーム本郷」の1年間がとても楽しみになりました。保護者の皆様も含めて、最高の「チーム本郷」にしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



令和5年度スローガン！

繰り返しになりますが、今年度本郷小学校では次のようなスローガンを掲げました。

「本気で 郷GO! ドリーム スマイル チャレンジ チーム本郷」です。これは、児童、教職員はもちろんですが、保護者の皆様、地域の皆様も含めた今年度の本郷小学校の合言葉です。本気、夢いっぱい、あふれる笑顔、すこやかチャレンジ、チームを大切にしながら、本郷小学校としては最後となるこの1年間の「今」を感じ、みんなで前に進んでいこうというような意味です。ぜひ今年度はこのテーマの下、保護者の皆様も同じ「チーム本郷」の仲間として「今」を大切にしながら、教育活動へご支援、ご協力いただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



マスク着用について！

昨年度末にお知らせしたとおり、4月から学校におけるマスク着用の考え方が見直され、通知されました。これを受け、学校におきましてもマスクの着用を求めないことが基本となりますが、それぞれの児童やご家庭の判断においてマスク着用については決定していただくことになっております。なおこの件に関しまして、差別や偏見がおきないように学校では教育活動を進めて参ります。また新型コロナウイルス感染症に限らず、他の感染症が流行している場合などは、マスク着用を促すことも考えられますので、ご了承ください。

明日は授業参観日！

明日14日(金)は授業参観、PTA総会、懇談会を実施いたしますお忙しい中だとは思いますが、新年度の子どもたちの学習の様子をぜひご覧いただければと思います。またPTA総会、学年懇談会も担任との出会いとなりますので、ご参加いただければ大変ありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

13:00～13:45	第5校時 授業参観 (各教室)
14:00～14:20	PTA総会 (各教室にてリモートで実施)
14:30～	学年懇談会 (各教室)

今年度もPTA活動がスタートいたします。PTA(父母と教師の会)は、子どもたちの健やかな成長と幸せのために、保護者の皆様と教師が、お互いに連携し合いながら、運営していく団体です。保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、会の目的に沿った活動が行われています。しかしながらPTA組織は任意団体であります。全保護者の皆様のご理解、ご協力の下、「**チーム本郷**」として前に進んでいきたいところではあります。総会要項のPTA会長の「父母と教師の会について」の文書の通り、今年度PTA加入に対して賛同が得られないご家庭があれば、教頭までご連絡ください。なお集金の関係上、4月19日(水)までご連絡がない場合は賛同を得られたものとします。どうぞよろしくお願い致します。

校長のひとりごと

新年度がスタートして約1週間が過ぎました。お子様は順調にスタートを切れましたでしょうか？年度始めは何かと気を張って、頑張りすぎてしまうこともあると思います。ぜひご家庭でお話を聞いていただければ幸いです。

さて少し前のことになってしまいますが、野球のWBCの大会は大変感動しました。自分も中学生時代は野球部であり、2人の息子も野球をやっていたため、野球は大好きなスポーツの1つでしたが、今回の大会は特に感動しました。その中でも3月21日の準決勝、メキシコ戦は強く心に残っています。この日は祝日だったため、テレビから目が離せませんでした。3点を追う日本が吉田選手のスリーランホームランで追いついた時が1つ目の感動。しかし追いついた後に、またメキシコに突き放されてしまいます。その後の大ピンチに登板したのが湯浅選手。彼は福島県の聖光学院の出身。しかし高校3年生の時の県予選は背番号18。見事優勝して出場した甲子園大会では、ベンチ入りメンバーを外れてしまった選手です。そこから独立リーグ、阪神タイガース、そして日本代表とまさに「**ドリーム**」を叶えた選手です。その湯浅選手がピンチで三振を奪った場面が2つ目の感動でした。そして1点差の9回裏の逆転サヨナラは何度もテレビで流れたので、みなさんもよく知っているのではないのでしょうか？村上選手の一打が最大級の感動でした。打てずに苦しんでいた「村上様」が放った一打。代走周東選手の快足。ベンチから飛び出した選手全員が「回れ回れ」と手を回し、飛び出してくる姿。そして村上選手の涙。あきらめない強い心「**チャレンジ**」の大切さを感じました。そして溢れんばかりの「**スマイル**」です。侍ジャパンの「**チーム力**」を強く感じました。「**チーム本郷**」の子どもたちにも最後まであきらめない心、「**本気で 郷GO**」の心意気を持たせていきたいですね。